

120年の軌跡

9

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

昭和51～58年



◀ふるさと宮祭り 毎年8月に繰り広げられるふるさと宮まつり。第1回は、市制80周年を記念して、宇都宮青年会議所など、宇都宮の若い力で実現しました。

宇都宮市年表

西暦	昭和	主な出来事
1983	58	▽JR宇都宮駅西口広場、ペダストリアンデッキが完成
1982	57	▽東北新幹線が開通
1981	56	▽市立図書館が開館
1980	55	▽市民憲章誕生 ▽栃の葉団体を開館 ▽市文化会館が開館 ▽宇都宮タワーが完成
1979	54	▽市森林公園が完成
1977	52	▽飛山城跡が国指定の史跡になる
1976	51	▽第1回ふるさと宮まつりを開催 ▽市制施行80周年記念式典を開催

▶市立図書館 オープン当時の蔵書は10万冊、閲覧席は232席。書籍の整理や貸し出しにはコンピュータを活用する近代的な図書館として誕生しました。



はつらっ宮っこ

今、輝いている市民

本当に好きな仕事を
可能性を求めて美容師の世界へ

国際テクニカル理容美容専門学校 中野 恵美さん

「人生の中でこんな素晴らしいことがあるなんて」と話すのは、国際美容協会主催の芸術祭全国大会学生留め袖の部で、県内初となる文部科学大臣賞を受賞した中野さん。「素晴らしいステージで、今まで学んできたことが表現できた」と頬を緩ませます。

現在、子育てをしながら、専門学校に通う中野さん。前職が生活のリズムに合わず「いつまでも長く続けられる、本当に好きな仕事を」と、昔から興味があった美容師になるため、専門学校に通うことを決めました。「謙虚で、自分より若い学生とも同じ目線で話せる。

これはなかなかできないこと」と、先生が話すように、モデル役も含まれます。



「着付けや結髪など美容師の世界は奥深く、勉強するとさらに興味が湧いてくる。受賞を糧にこれからもがんばりたい」と話す中野さん。その可能性はますます広がります。